

# 長久手市人口ビジョン案の概要

資料8

**目的** 「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国や県の「長期ビジョン」を勘案しつつ、目指すべき将来の方向や2060年までの人口の将来を提示する。

## 1 長久手市の人口の現状分析

### <総人口と高齢化率>

- ・総人口は高度成長期以降、一貫して増加。2010（平成22）年時点で52,022人。
- ・高齢化率は13.2%で、国や県よりかなり低い。

### <世帯構成>

- ・単独世帯が多い
- ・3世代同居などの世帯の割合が国や県より低い。

### <未婚率>

- ・未婚率は国より低い。

### <合計特殊出生率>

- ・合計特殊出生率（1.55）は、国（1.38）や県（1.51）を上回る（2008～2012年）。

### <自然増減>

- ・自然増を維持

### <社会増減>

- ・社会増を維持
- ・名古屋都市圏からの転入が多い
- ・25歳前後の若者の転出が比較的多い

### <将来人口推計>

- ・市の独自推計によると、今後しばらくは人口増の傾向が続くものの、2050（平成62）年頃から頭打ちとなり、その後は微減

## 2 人口の動向を踏まえた長久手市の強みと課題

	強み	課題
自然増減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20～24歳と30～44歳の年齢層が多く、国や県、周辺市町と比べて老年人口の割合が低い</li> <li>・人口構成が若く、出産・子育て期にある世代が比較的多い</li> <li>・出生数が死亡数よりも多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団塊ジュニア（現在40歳代）が高齢を迎える2040（平成52）年頃には、老年人口の割合が高まり、介護にかかる負担等の問題が生じてくる</li> <li>・3世代同居の世帯の割合が低く、出産しても身近に子どもを預けられる人が少ない</li> </ul>
社会増減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入学を機に転入する若者が転出よりも多く、活気がある</li> <li>・宅地開発等により、名古屋都市圏からの転入が転出よりも多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生等は就職などにより、長久手市を転出することが多い</li> <li>・近所での人間関係が希薄になりがちである</li> </ul>
地域構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リニモの開通により、交通の利便性が向上</li> <li>・市内や周辺に大学が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性が向上したにも関わらず、市外から人を呼び込むための地域資源を発掘できていない</li> <li>・市民が大学施設を活用できていない</li> </ul>

### 3. 目指すべき方向と人口の将来展望

- 長期的な視点に立って、出産・子育ての支援や市民の定住を促し、適正な人口構成を維持するとともに、高齢者の増加への対策を実施していく必要がある。
- 合計特殊出生率は近隣自治体の中では高く、世帯の経済状態を考慮すると、今後の伸びも期待できることから、結婚・子育ての支援が有効。
- 転入者が多く、子どもを預けられるような人が身近に少ない状況にあるが、今後、地域のつながりを密にしていくことで改善の糸口。
- 市内に多く居住している学生は、インターンシップや地域活動を通じて、若者のスキルアップや観光交流の担い手として期待。



これらを踏まえ、今後の市の適正な人口規模と構成を目指して、以下の4つのテーマを柱としながら、取り組んでいきます。

#### ①子育て支援

(キーワード) 出産・子育て支援、男女共同参画の実現、教育

#### ②地域連携

(キーワード) 新たなコミュニティの創出、生活支援、大学連携

#### ③福祉・健康

(キーワード) 健康増進、介護支援

#### ④観光交流

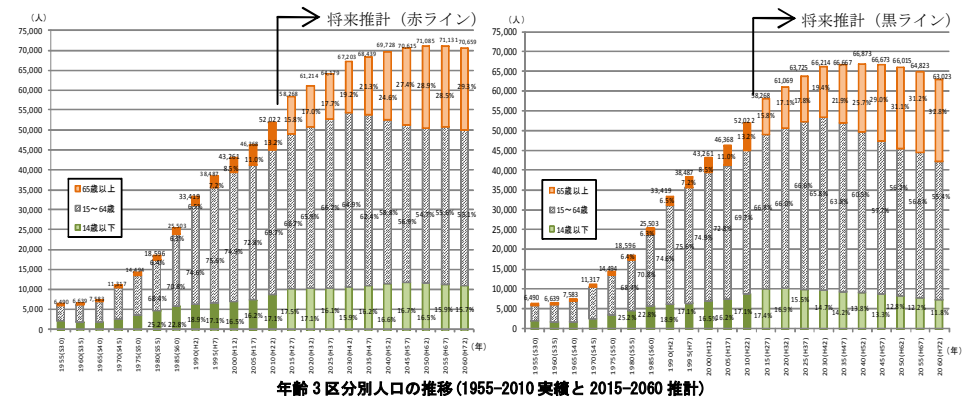
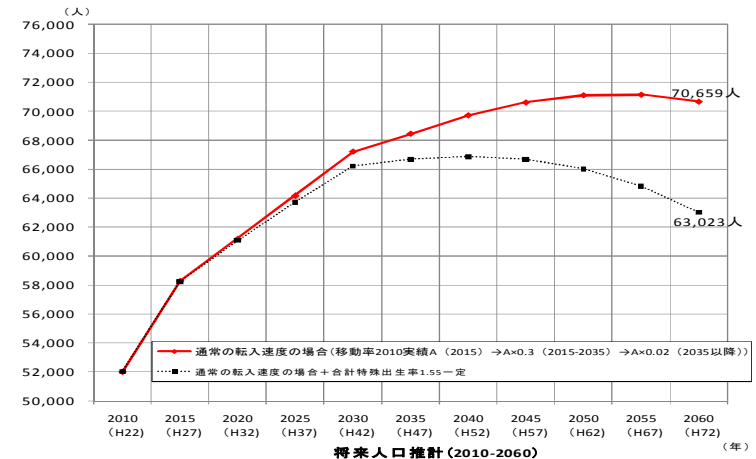
(キーワード) 観光交流、コミュニティビジネス

### <長久手市の人口の将来展望>

[前提条件]

グラフ：赤ライン＝合計特殊出生率が上昇に転じたケース

黒ライン＝合計特殊出生率が現状のまま推移したケース



- 出産・子育ての支援を継続し、合計特殊出生率を国の長期ビジョンの値にまで高めるとともに、地域の魅力や住みやすさを高め、交流による地域活性化を進めることにより、2060 (平成 72) 年に約 70,000 人の人口規模を目指します。